

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 78

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	畜産担い手育成総合整備事業					
所属名	農政部	畜産課	畜産振興グループ			
第七次総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	分野	4 畜産業	基本施策	1 安定した畜産経営環境を整備する
予算科目	5	2	2	畜産振興	費	52201 畜産担い手育成総合整備
					費	
					費	
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市畜産振興事業補助金交付規則					
事業の実施主体	<input type="radio"/> 市		<input type="radio"/> 市以外→			
事業の実施方法	<input type="radio"/> 直営		<input type="radio"/> 指定管理	<input type="radio"/> 業務委託	<input type="radio"/> 団体等補助	<input type="radio"/> その他→

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	畜産農家(肉用牛・乳用牛・豚・鶏)	受益者数	270 人
概要	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	・草地や牧場を造成することにより、自給飼料に立脚した畜産経営の育成を図る。		
	事業の実施手法、手順	・自給飼料増産に見合った頭数規模拡大を図り、飼料生産基盤に立脚した担い手の育成を図る。		
概要	事業始期・終期	始期: 20 年度から	終期: 24 年度まで	設定なし
	今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 ・市営牧場の拡大整備による低コスト生産の推進。		

3 事業費の推移・結果(Do)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)	-	-	84,660	150,000	168,000	
総合計画計画額(計画額)	250,000	312,000	84,660	150,000	168,000	
事業費	予算額	255,920	41,000	85,270		
	決算・見込	135,741	33,352			
財源	国庫支出金					
	県支出金	130,250	21,689	49,592		
	地方債	71,087	18,097			
	受益者負担	4,770	840			
	繰入	4,318	871			
	(財産売却)	107,880	12,180			
	一般財源	13,020	6,291	35,678		
		7,058	5,143			
	H17国勢調査	96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価		
	受益者負担率(受益者負担/事業費)	1.87%	2.07%			
市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	1,411	347				
1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	4,219	1,037				
受益者1人当たりコスト(事業費/指標)						
↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)						

(成果面)

活動・成果指標	指標名	資料・出展算出式						単位	頭
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
活動指標	活動指標	3,568	3,509	3,600	3,750	3,800	4,000	4,000	↑
	実績値								
	達成率			0	0	0	0	0	
成果指標	成果指標								
	実績値								
	達成率								

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	農業者事業 ・草地造成2.43ha・敷地造成0.68ha ・畜舎2棟・堆肥舎2棟・飼料貯蔵庫1基 ・機械導入4台 高山市事業(久手牧場整備) ・野草地整備 5.32ha ・牧場整備 1.726m	169,093 千円
	事業費	(内容)	85,270 千円
	その他		0 千円
本年度	対象・手段	千町牧場の拡大整備 ・造成面積 15ha ・測量、設計 ・樹木伐採 ・抜根、排根	85,270 千円
	事業費	(内容)	0 千円
	その他		0 千円
受益者負担	67,708 千円	(内容)	補助残

(成果面)

進捗	項目	評価内容(算定式)			進捗率
		整備見込	整備目標	単位	
本年度	整備状況	15	15	ha	100.00
	決算見込	85,270	85,270	千円	
本年度までの累計	整備状況	22.75	15.00	ha	151.7
	累計	254,363	646,660	千円	39.3
事業の進捗率の考え方 草地整備計画面積に対する事業出来高					
進捗結果・理由 H21年度においては、景気低迷と飼料高騰により事業参加農家が減少したがH22年度の見直しにより、ほぼ計画どおりの進捗					

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	安全安心な畜産物の供給、畜産関連施設の整備を行い「飛騨牛」の増頭を図り、「飛騨高山ブランド」の強化を推進するとともに畜産物の安定供給を行う。	判定 A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	減少 維持 1 増加	項目 ②コスト面 増加 維持 減少 ③成果面 拡大 維持 減少 コスト・成果ポジション B 第2水準
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	拡大 1 維持 減少	

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持	一次評価 主管課 II 判断の理由及び課題問題点 草地整備により自給率の向上が図られるとともに畜舎整備による飼養頭数の増加が見込まれる。
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要	
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要	
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要	
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要	

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・継続 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>	総合評価 コスト 高 成果 高 評価区分 III
活動の方針	事業年度平成20年度～平成24年度まで継続 千町牧場整備	「II」以上の水準に向けた改善が必要 受益者数に比べ、コスト面が多くなっており、コストに見合うだけの肉用牛の増頭を進める必要がある。